

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	07	01	02	174080	特産品開発・販路拡大事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-5	農工商観連携の推進			
	施策	2	特産品の開発			
目的	花巻産の農畜産物を活用した新たな加工品開発					
対象	市内事業者					
意図	特産品の開発と販路の拡大					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> 農商工連携 花巻産農畜産物を活用した新たな加工品開発等にかかる農商工連携事業補助金の交付 <input type="checkbox"/> 日本貿易振興機構盛岡情報貿易センター支援 日本貿易振興機構盛岡情報貿易センター負担金の交付						
市民参画の有無 [ 対象外 ]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		事業協力・協定		
		<input type="checkbox"/> 補助・助成		委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	6次産業化推進事業補助金交付件数	件	計画	6		
			実績	0		
②	農商工連携事業補助金交付件数	件	計画		6	
			実績		4	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	農商工連携事業補助金の加工品開発に取り組んだ事業所数	事業所	目標	6	6	
			実績	0	4	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		<input type="checkbox"/> 目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
6次産業化や農商工連携による加工品開発の相談はあるものの、構想段階であったり、資金確保の目的が立っていないなど、本補助金を利用できる段階となっている事業者は少なかったため、目標値を下回った。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	農商工連携による農業者等の所得向上はもとより、多業種の企業の新たな取り組みや戦略展開の支援は、地域経済の活性化に直結するため、市内中小企業の育成の観点からも、市の支援により取組む必要がある。
	<input type="checkbox"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	支援制度の更なる周知により、事業者の掘り起こしを図ることが可能となる。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最小限の補助金交付が事業の主体であるため、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	全ての市内事業者を対象としており、意欲さえあれば広く制度を活用することができるため、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
花巻市内の農畜産物を活用し新たな商品の開発を実現できた。今後はより一層の販路拡大を目指すことが重要である。		

平成 28 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	07	01	02	174080	特産品開発・販路拡大事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		210	1,310		1,100
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	210	1,310		1,100

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	-------------------------------	-----------------

部重点施策における目標

多様な産業の連携を促し、高い付加価値を生み出します。

事業開始の背景・経緯

農畜産業者の所得の確保が重要課題であり、6次産業化は、雇用を生む産業の創出を促進し、地域の再生と活性化をもたらすと期待され、地域の農畜産物を活用した新事業の創出等に関する施策を総合的に推進することにより、農畜産業者の所得向上を図ることに寄与することを主眼として開始されている。

事業概要

- 農商工連携  
花巻産農畜産物を活用した新たな加工品開発等にかかる農商工連携事業補助金の交付
- 日本貿易振興機構盛岡情報貿易センター支援  
日本貿易振興機構盛岡情報貿易センター負担金の交付

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

地域を代表する特産品開発が停滞している状況にある。  
平成28年12月に果実酒特区が認定されたことから、生産者や生産団体へ制度活用を働き掛ける必要がある。

担当部署 部名 地域振興部 課名 定住推進課 担当係長 寺林和弘 内線 435 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

■農商工連携事業補助金 1,310千円

※6次産業化推進事業補助金を見直し

(主な見直し内容：補助率上限の引き上げ、事業期間延長(2年度→3年度)、設備整備費用を補助対象外)

花巻産の農畜産物を活用し、加工品開発、加工施設、販売施設、提供施設を整備に要する経費を助成する。

対象事業	補助対象経費	補助率	補助率	限度回数
加工品開発	花巻産農畜産物を活用した加工品の開発及び販路拡大等に要する経費であって、次に掲げるもの ・原材料費、機械装置等のレンタル、リース経費、外注加工費、試作開発費、検査分析費、その他試作品開発に要する経費 ・調査研究費その他市場評価の実施に要する経費 ・広報宣伝費、展示会等出展費その他販路開拓に要する経費 ・共通経費等(直接人件費を除く。)	2分の1	200万円	一の補助事業者につき1回とする。ただし、継続して事業実施する場合は、1年度内1回とし、連続する3年度内の3回までとする。
加工施設・機械整備	花巻産農畜産物を活用した加工品の開発に必要な加工施設及び機械等の整備に要する経費	3分の1	100万円	一の補助事業者につき1回とする。

■その他(農商工連携事業関連)

8節 0千円 (農商工連携アドバイザー謝礼)

■日本貿易振興機構盛岡情報貿易センター負担金 210千円

輸出入(貿易)促進、産業協力、産業振興のために広く海外の経済、貿易情報の収集と関係者への情報提供を行う。

(構成員：ジェトロ、岩手県、県内市町村)